

★千葉県中小支援金 1月まで延長

千葉県は、新型コロナウイルスの影響で売上げが半減した県内の中小企業や個人事業主に対する支援金(20万～40万)の申請期間を来年の1月末まで大幅延長した。新型コロナが経済に与える打撃が長期化し、7月以降に感染が再拡大している事を踏まえた対応。

1月～12月までのいずれか1か月の売上高が前年を50%以上下回った事業者に対し、20万～40万支給であったが、6月以降の連続する3か月の売上高が前年比30%以上減少する事業者も新たに支給対象とする。

この支援金は5月から受付を開始、8月28日時点で83,240件の申請があり、約145億円を支給した。支給対象を広げた追加の費用は委託費も含め82億円。9月の補正予算に盛り込んでいる。

★千葉県最低賃金は2円増の925円

中央最低賃金審議会は2020年度地域別最低賃金の改定について、新型コロナウイルスの影響で経済情勢が悪化する中、雇用の維持を優先する姿勢を示し「現行水準維持が適当」と厚労相に答申した。地方審議会の答申を受け、地域別最低賃金は以下の通り。(10月発効)

地域ごとの最低賃金(引き上げ額) (円)			
北海道	861(0)	滋賀	868(68)
青森	793(3)	京都	909(0)
岩手	793(3)	大阪	964(0)
宮城	825(1)	兵庫	900(1)
秋田	792(2)	奈良	838(1)
山形	793(3)	和歌山	831(1)
福島	800(2)	鳥取	792(2)
茨城	851(2)	島根	792(2)
栃木	854(1)	岡山	834(1)
群馬	837(2)	広島	871(0)
埼玉	928(2)	山口	829(0)
千葉	925(2)	徳島	796(3)
東京	1,013(0)	香川	820(2)
神奈川	1,012(1)	愛媛	793(3)
新潟	831(1)	高知	792(2)
富山	849(1)	福岡	842(1)
石川	833(1)	佐賀	792(2)
福井	830(1)	長崎	793(3)
山梨	838(1)	熊本	793(3)
長野	849(1)	大分	792(2)
岐阜	852(1)	宮崎	793(3)
静岡	885(0)	鹿児島	793(3)
愛知	927(1)	沖縄	792(2)
三重	874(1)	全国平均	902(1)

★船員の働き方改革

政府が船員の働き方改革を進めるため、健康対策や労働時間の管理を強化する方針を固めた。職住一体の船上は、陸とは異なる残業時間の上限規制や労務管理のルールがあり、働き方改革の適用外であった。

国内の港を行き来する船(内航船)の月の総労働時間は約238時間と、陸の一般的な労働者(約170時間)や運輸業・郵便業(約188時間)より長い。休日が取りにくい連続労働が背景にあり、厳しい運航スケジュールや乗船中の緊張感から船員は病気の発生率が高く、強いストレスを感じる人の割合も高い。

法改正では、50人以上の事業所に産業医の選任と、ストレスチェック実施や長時間労働をした人への面接指導を求める。いずれも陸では義務であるが船員は事業主の任意であった。その他、防災訓練や当直引き継ぎは労働時間外とされて残業代も支払われなかったが見直す。

★「雇用シェア」支援強化

新型コロナウイルスの感染拡大による業績悪化で厳しい雇用情勢が続く中、政府は失業を防止するため、休業中の人と人手不足に悩む企業を結び付ける「雇用シェアリング」の支援を強化した。産業雇用安定センターによると、外国人観光客が来なくなって仕事が激減した観光バス運転手がマスクや消毒液を運ぶトラック運転手として働いたり、レストランの調理師がスーパーの食材調理担当になる例もある。雇用調整助成金の要件の緩和により、出向期間が3か月以上から特例で1か月以上に短縮し使いやすくなった。



コスモス